

Bibliophiles

ビブリオファイル No.13(2019年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



『みをつくし料理帖』 高田郁

19世紀の江戸を舞台にした時代小説で、女性料理人の漣（みを）を主人公にして、彼女が料理を通じて人を幸せにしていく過程を描いた人気シリーズです。すでに北川景子や黒木華主演でテレビドラマ化されていますが、出版社社長で映画監督でもある角川春樹が、「生涯最後の監督作品」として今年映画化することが決定しています。料理に興味のある方は、巻末に付けられた料理レシピ「漣の料理帖」もぜひご覧下さい。

『電池が起こすエネルギー革命』

吉野彰

昨年末の吉野氏のノーベル賞受賞のニュースは、日本の各方面に希望の光をもたらしました。何よりも、民間企業（旭化成工業）がこうした発明を成し遂げたのが素晴らしいですね。この本は、電池の歴史や基本的仕組みから始まり、受賞の対象となったリチウムイオン電池の開発秘話などを詳しく解説してくれます。また吉野氏によれば、「IT（情報技術）革命のあとには ET（環境&エネルギー技術）革命が来る」そうです。詳しくは本書をご覧ください。

『東大 No.1 頭脳が教える 頭を鍛える 5つの習慣』 水上 颯

この本のタイトルの「東大 No.1 頭脳」とか、作者が東大医学部在学のクイズ王とかいうイメージからすると「こういう頭のいい人は自分には関係ないので・・・」と遠ざけてしまいそうになる本かもしれませんね。でもこの本のタイトルの後半を見て下さい。作者はこの本で「僕は決して天才ではなく、頭を鍛える習慣を身に付けることで勉強してきた」という意味のことを述べているのです。いったいどんな「習慣」なのか気になる人は、迷わず図書館へ go! 自分なりの勉強法が見つかるかも知れませんよ。

『はじめての空手道：危険に立ち向かう力が身につく。心技体を鍛えて強くなる』 全日本空手道連盟

今年の東京オリンピックからはじめて正式種目となった空手道。日本人選手のメダル獲得にも期待がかかります。本書は「空手はよく知らない」という入門者向けに、基本の技や礼儀作法、護身術や道場の選び方など「空手のABC」を分かりやすく解説してくれます。

『自衛隊防災 BOOK 2』 自衛隊/防衛省協力

自衛隊員仕込みの「サバイバルテクニック」がぎゅっしりつまった第1弾は30万部のベストセラーとなり、勢いに乗った形で第2弾も出ました。今回のテーマはズバリ「災害」で、大雨、地震、火事、強風、大雪など日本で遭遇する可能性の高い災害について、一つ一つ防災テクニックを解説してくれます。いざ火事に直面した時、あなたはどこへ向かって逃げますか？

『プログラマー、業界のしくみからお金の話まで

e スポーツのすべてがわかる本』 黒川文雄ほか
コンピュータゲームがスポーツになった「e(エレクトロニック)スポーツ」が世界的に盛り上がってきています。すでに年収1億円を超えるプレイヤーも出てきていますが、一体収入源は何か、どうやってプロになるのかなど、この本はe スポーツ初心者のあなたのために、基本からやさしく教えてくれますよ。

『ブラックボックス』 伊藤詩織

年末の裁判で、レイプを訴えていたこの本の著者が勝訴を収めてニュースになりましたね。彼女の闘いは日本における「#me too (セクハラ被害告発)」運動の最先端としてイギリスのBBC やフランスのル・モンド紙など海外のメディアも注目しています。この本ではジャーナリストでもある筆者が、性被害を取り巻く日本の理不尽な現状を描いています。

『2030年の世界地図帳 あたらしい経済とSDGs、未来への展望』 落合陽一

SDGs とは「持続可能な開発目標」のことで、国連サミットで採択された 2030 までの国際目標です。例えば「2030年までに世界から飢餓を撲滅する」ことが目標となっています。このために、

特に開発途上国において農業生産能力を向上させる（食べ物が沢山作れるようにする）ことが課題となっています。こうした世界潮流の中で、日本の企業はドローンの活用など農業技術の開発を急速に推し進めています。この本であなた自身による未来の世界を描いてみませんか。

『このミステリーがすごい!』

2020年版』

年末恒例のミステリー・ガイドブックが昨年末も出ました。2019年に日本国内&海外で出たミステリーのランキング・ベスト20をはじめ、ミステリー界の「レジェンド」による対談や人気作家による新作紹介など、ミステリー界の動向を知り、話題作をチェックするには最適な本ですね。



今号のひとこと

Il y a tout ce que vous voulez
Aux Champs-Élysées.

シャンゼリゼ通りには、あなたの欲しいものが何でもある。 ピエール・ドラノエ (1918-2006)

「オー・シャンゼリゼ♪」のサビでおなじみの、日本で一番有名なフランス語の歌の一節です。この日本語訳の歌詞から「オー」を感嘆詞だと私は以前思ってたのですが、実は「aux」は「～には」という前置詞だったんですね。さらに申せば「aux」は歌だから「オー」と音符の長さだけ伸ばしているだけで、じつは短母音です。「オ・シャンゼリゼ」が正しい発音でした。イメージと違うと怒られます？

※ほかにも、漫画『鬼滅の刃』『3月のライオン』『文豪ストレイドッグス』『ONE PIECE』最新刊が入っています。